【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成27年3月5日(2015.3.5)

【公表番号】特表2014-505057(P2014-505057A)
【公表日】平成26年2月27日(2014.2.27)
【年通号数】公開・登録公報2014-011
【出願番号】特願2013-548621(P2013-548621)
【国際特許分類】
*Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)*
*Ｃ０７Ｋ　16/18　(2006.01)*
*Ｃ１２Ｐ　21/08　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　39/395　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　31/7105　(2006.01)*
*Ａ６１Ｐ　11/00　(2006.01)*
*Ａ６１Ｐ　29/00　(2006.01)*
*Ａ６１Ｐ　1/16　(2006.01)*
*Ａ６１Ｐ　13/12　(2006.01)*
*Ａ６１Ｐ　39/00　(2006.01)*
*Ａ６１Ｐ　1/02　(2006.01)*
*Ａ６１Ｐ　21/00　(2006.01)*
*Ａ６１Ｐ　9/00　(2006.01)*
*Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)*
*Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)*
*Ｃ１２Ｎ　15/02　(2006.01)*
*Ｃ０７Ｋ　16/46　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　45/00
Ｃ０７Ｋ　16/18　ＺＮＡ
Ｃ１２Ｐ　21/08
Ａ６１Ｋ　39/395　Ｎ
Ａ６１Ｋ　39/395　Ｄ
Ａ６１Ｋ　31/7105
Ａ６１Ｐ　11/00
Ａ６１Ｐ　29/00
Ａ６１Ｐ　1/16
Ａ６１Ｐ　13/12
Ａ６１Ｐ　39/00
Ａ６１Ｐ　1/02
Ａ６１Ｐ　21/00
Ａ６１Ｐ　9/00
Ａ６１Ｐ　43/00　１１１
Ｃ１２Ｎ　15/00　Ａ
Ｃ１２Ｎ　15/00　Ｃ
Ｃ０７Ｋ　16/46

【手続補正書】
【提出日】平成27年1月13日(2015.1.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
対象における線維症もしくは組織修復性疾患である疾患の治療または予防のための薬剤の調製における、モノクローナル抗体または抗原結合抗体断片の使用であって、
前記モノクローナル抗体または抗原結合抗体断片は、幹細胞因子アイソフォームａと比較して幹細胞因子アイソフォームｂに特異的に結合する、使用。
【請求項２】
前記抗体または抗原結合抗体断片は、配列番号４によって示されるアミノ酸配列を含むペプチドまたはそのペプチド断片に特異的に結合する、請求項１に記載の使用。
【請求項３】
前記抗体または抗原結合抗体断片は、配列番号１によって示されるアミノ酸配列を含むペプチドに特異的に結合する、請求項１に記載の使用。
【請求項４】
前記抗体または抗原結合抗体断片が、前記疾患のうちの少なくとも一つの症状の重篤性を阻害または減少させる、請求項１～３の何れか一項に記載の使用。
【請求項５】
前記抗体は、ヒト化抗体である、請求項１～４の何れか一項に記載の使用。
【請求項６】
前記対象は、幹細胞因子の異常活性を有する、請求項１～５の何れか一項に記載の使用。
【請求項７】
前記対象は、異常なコラーゲン産生を有する、請求項１～６の何れか一項に記載の使用。
【請求項８】
前記疾患は、線維症、修復性疾患または肺疾患である、請求項１～７の何れか一項に記載の使用。
【請求項９】
前記疾患は、特発性肺線維症、慢性閉塞性肺疾患、急性呼吸逼迫症候群、嚢胞性線維症、気管支周囲線維症、過感受性肺炎、喘息、浮腫性硬化症、炎症、肝硬変、腎線維症、実質性線維化、心内膜心筋線維症、縦隔線維症、小結節性表皮下線維症、線維性組織球腫、線維胸、肝線維症、線維筋痛、歯肉線維症または放射線誘導性線維症である、請求項１～８の何れか一項に記載の使用。
【請求項１０】
前記抗体または抗原結合抗体断片は、対象の気道へ送達のために調合される、請求項１～９の何れか一項に記載の使用。
【請求項１１】
前記抗体または抗原結合抗体断片は、受容体の活性を減少させる、請求項１～１０の何れか一項に記載の使用。
【請求項１２】
前記抗体または抗原結合抗体断片は、前記受容体と幹細胞因子の相互作用を減少させる、請求項１１に記載の使用。
【請求項１３】
前記受容体は、チロシンキナーゼ受容体である、請求項１１または１２に記載の使用。
【請求項１４】
前記受容体は、ｃ－Ｋｉｔである、請求項１１または１２に記載の使用。
【請求項１５】
前記受容体は、造血前駆細胞、メラニン細胞、胚細胞、好酸球、リンパ球、線維芽細胞

、筋線維芽細胞または肥満細胞上に見いだされる、請求項１１～１４の何れか一項に記載の使用。
【請求項１６】
前記抗体または抗原結合抗体断片は、骨髄細胞、肝細胞、上皮細胞、平滑筋細胞、腎臓細胞または線維芽細胞から生じる、請求項１～１５の何れか一項に記載の使用。
【請求項１７】
前記抗体または抗原結合抗体断片は、線維芽細胞活性化を直接的に阻害する、請求項１～１６の何れか一項に記載の使用。
【請求項１８】
細胞または組織へ投与するための薬剤の調製における、幹細胞因子アイソフォームａと比較して幹細胞因子アイソフォームｂに特異的に結合するモノクローナル抗体または抗原結合抗体断片の使用。